

平成 29 年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】

平成 30 年 3 月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 理事長 中野勸次郎
2. 学校名 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー
3. 校長名 中野勸次郎
4. 認可 平成21年3月25日
5. 開校 平成21年4月1日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町 130-38 (Tel) 053-455-2550
7. 課程 文化・教養専門課程

8. 学校の沿革

- | | |
|---------|--|
| 平成7年3月 | 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける |
| 平成7年4月 | 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設 |
| 平成17年4月 | 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更
総合デザイン学部・動物関係学部を開設 |
| 平成20年3月 | 学校法人爽青会 認可 |
| 平成21年4月 | 専門学校ルネサンス・ペット アカデミー 独立開校 |
| 平成26年3月 | 設置4学科で職業実践専門課程認定 |
| 平成27年4月 | 動物看護・理学療法科で3年制課程開始 |
| 平成28年2月 | ISO29990 取得 |
| 平成28年4月 | ペットエステ・トリミング科3年制課程開始 |

9. 校訓

Every dog has his day. (みんな輝くときが来る)

10. 教育目標

日本人ならではの徳性を活かし、人への配慮を最優先し、日本流・環境保全を世界に問う

重点項目

- ・教育理念教育（幹部職員研修を実施）
- ・第三者評価の維持（学校関係者評価の継続）
- ・入学者増員対策（3年制の進化・定着およびマスター科の活用）
- ・納得・自活就職内定の進化（早期予測の進化、新規開拓30軒と分析、
就職保護者会による保護者協力体制構築）
- ・3年制学科の就職先維持（定期的な企業訪問）
- ・教員の異動、採用、育成等（新任教頭の就任、動物看護師科の教員採用、ペットエステ・
トリミング科職員の補充、ドッグトレーニング・ウェルネス科教員による運動・食事・
しつけのカリキュラム立案）
- ・ペットエステ・トリミング科大会向け体制の維持（選手の精神面強化策）
- ・新設備施設の導入
- ・第三者評価の維持（ISOの継続）

1 1. 設置学科（平成29年度～）

動物看護師科（昼3年 男女 定員40名）

ペットエステ・トリミング科3年制（昼3年 男女 定員25名）

ペットエステ・トリミング科2年制（昼3年 男女 定員15名）

ドッグトレーニング・ウェルネス科（昼2年 男女 定員40名）

動物海洋飼育・アクアリウム科（昼2年 男女 定員40名）

マスター科（昼1年 男女 定員5名）

1 2. 学生数（平成30年2月1日現在） 230名

1 3. 教職員数（平成30年2月1日現在） 18名

1 4. 学校建物面積 1860㎡

2 自己点検・自己評価委員会

1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎 (委員長)
2. 本部長 中野祐子
3. 教頭 藤原研一
4. 事務局 鈴木博昭
5. 教務部 早房陽
6. 教務部 長瀬加津也
7. 教務部 村瀬晋司
8. 教務部 堀内貴充

・監査委員

1. 顧問 田中克己
2. 教務部 池田孝司

2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

- 平成29年11月28日 自己点検・評価委員会 第1回会議
平成29年12月19日 自己点検・評価委員会 第2回会議
平成30年1月16日 自己点検・評価委員会 第3回会議
平成30年2月5日 自己点検・評価委員会 内部監査
平成30年2月9日 設置者への報告
平成30年2月26日 学校関係者評価委員会
平成30年3月3日 学校法人爽青会理事会報告
平成30年3月9日 第1回講師会にて共有
平成30年4月2日 ホームページにて外部への公開

3 学校関係者評価委員会

1) 委員名簿

1. 安倍 徹 アン ランゲージ スクール校長/元静岡県教育長
2. 鈴木 かおる 株式会社浜松ビジネススクール 代表
3. 安武 伸朗 UX (User Experience) Shizuoka 代表
4. 原 大二郎 公益社団法人日本動物病院協会 監事

2) 開催日・場所

- 平成30年2月26日 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー401教室にて開催

4 評価一覧

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
1 教育理念・目標	① 理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4
	② 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	4
	③ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
	④ 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4
	⑤ 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	4
2 学校運営	① 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	4
	② 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
	③ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
	④ 目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	3.3
	⑤ 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	4
	⑥ 人事、給与に関する制度は整備されているか	4	4
	⑦ 教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	4
	⑧ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3.5
	⑨ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	4
	⑩ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
	⑪ 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	4
	⑫ 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	3	3.5
	⑬ 利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	4
3 教育活動	①教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
	②キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3.3
	③教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
	④動物関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4

	⑤資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
	⑥ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	⑦ Can-Do を意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4	4
	⑧動物関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4
	⑨シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	4
	⑩実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4	4
	⑪学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	4
	⑫成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
	⑬職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	⑭ 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3.3
	⑮閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	4
	⑯教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	4
	⑰人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
	⑱教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	3.3
	⑲関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4
	⑳職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果の評価し、文書により記録しているか）	3	3
	21 動物関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3.3
4 学 修 成 果	①学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	4
	②卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4
	③評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	4
	④学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	4
	⑤成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	4
	⑥ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	4
	⑦学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	4
	⑧卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4

5 学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	②学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	③保護者と適切に連携しているか	4	4
	④社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	2.8
	⑤卒業生への支援体制はあるか	4	4
	⑥図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	4
	⑦学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
	⑧学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	⑨課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
	⑩学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	⑪高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
6 教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
	②学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4	4
	③教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	4
	④防災に対する体制は整備されているか	4	4
	⑤学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
7 学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	4
	②履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	4
	③学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	4
	④学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	4
	⑤学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
	⑥評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	4
	⑦学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	4
	⑧教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	4
	⑨学納金は妥当なものとなっているか	4	4
	⑩志願者状況、定員充足率はどうか	2	2.8

8 教育の内部質保証システム	①個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	②法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	③文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	2	2.8
	④自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	3	3.3
	⑤監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	4
	⑥内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	3	3.3
	⑦内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	3.3
	⑧自己点検・評価結果を公開しているか	4	4
9 財務	①財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
	②財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
	③中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
	④予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
10 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
	③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4
11 国際交流（必要に応じて）	①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか		
	②留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか		
	③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか		
	④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4

5. 評価の理由とコメント

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1 教育理念・目標	1 理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	理念・目的・育人人材像は毎年検討・更新され、教職員は原点確認研修資料、学生は学生必携にて周知している。	4	(安倍)学生必携の巻頭言が学生に向けての言葉になっているか。(安倍)教育理念、目的、育人人材像等、学校が目指す方向性については、繰り返し伝えていく必要がある。(原)時代の変化に素早く対応できている。
	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	年2回の教育課程編成委員会やインターンシップ訪問時の聞き取り、学校関係者評価委員会によって、業界の動向・ニーズを調査している。	4	(安倍)教育理念、目的、育人人材像等、学校が目指す方向性については、繰り返し伝えていく必要がある。(原)時代の変化に素早く対応できている。
	3 各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	年2回の教育課程編成委員会と、インターンシップ訪問時の聞き取り、学校関係者評価委員会を基に次年度教育計画を策定している。	4	(安倍)同上
	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	業界のニーズを調査し次年度計画を策定しており、学校案内に各学科の特色を記載している。	4	(安倍)同上
	5 理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	OCや保護者説明会、入学後の説明会、オリエンテーションにて複数回説明の場を設定し、周知している。	4	(安倍)同上 (鈴木)学生・保護者双方への周知が密に取れている。

① 課題

教育理念は明確に定められ、文書等で教職員並びに学生・保護者に適切に提示説明している。

② 今後の改善方策

継続実施する。

③ 特記事項

社会ニーズならびにコアカリキュラムの変更に伴い、2018年度より動物看護師科2年制の募集開始予定。

《学校関係者評価委員会での意見》

1 ISOの評価は、「実施状況」に対しての評価なのか、又は「成果」に対しての評価なのか？

・動物業界に関しては、評価基準が実施評価は「3」、成果が出てきたら「4」評価と言う流れになっている。

2 教育理念や目標は、学生が見てわかりやすい文章になっているかは疑問に感じるがどうか。

・各教室にも教育理念等も掲示しているが、わかりにくいところもあるため、「ルネサンスメソッド」という授業で噛み砕いて説明している。今回は「周知」が評価基準となっているが、本来は浸透させることが大切なため、今後も学生理解に取り組んでいく。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
2 学校運営	1 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	必要に応じて学則変更を適宜実施し、専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った運営をしている。	4	(安倍) 計画的できめ細かな学校運営が行われている。
	2 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	運営組織・意思決定機能は業務分掌にて明文化し、人事・給与規定は就業規則にて規定し、教職員に共有している。	4	(安倍) 同上
	3 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	財務は経理規定、教務に関しては学科運営方針にて意思決定システムを整備している。	4	(安倍) 同上
	4 目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	事業計画策定は理事会・評議員会にて適切に行われている。	4	(安倍) 同上
	5 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	毎年反省・見直しを実施し、設置者の承認を経て運営方針を策定している。	4	(安倍) 同上
	6 人事、給与に関する制度は整備されているか	4	人事・給与規定は就業規則にて規定し、教職員に共有している。	4	(安倍) 同上
	7 教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	年2回の講師会全体会にて意思統一を図り、分科会にて学科ごと情報共有の場を設けている。また、各授業後には授業報告書を作成してリアルタイムな情報共有を図っている。	4	(安倍) 同上
	8 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	機密保護管理規定・お問い合わせ対応マニュアルにて整備しているが、マニュアルに沿った対応までは浸透していない。	3.5	(安倍) 同上
	9 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程認定条件に準拠した情報を公式WEBサイトにて公開している。	4	(安倍) 同上
	10 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	学内グループウェアの活用ならびにサーバ管理システムにより、業務効率化が図られている。	4	(安倍) 同上
	11 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	月1回の経営会議内において、教育の現状把握・分析とともに学校運営の仕組みそのものについても適宜見直しを図っている。また年1回の自己点検において内部監査を実施し、問題点を報告書として共有している。	4	(安倍) 同上
	12 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	3	是正処置及び予防処置規定、お問い合わせ対応マニュアルは整備しているが、マニュアルに沿った対応までは浸透していない。	3.5	(安倍) 同上
	13 利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	学生相談室については学生必携にて記載し、オリエンテーションにて周知している。外部には公式WEBサイトにお問い合わせフォームを作成し、学外からの窓口も設置している。	4	(安倍) 同上

① 課題

苦情・要請への対応はその都度考えて実施されており、情報の共有としての是正処置及び予防処置規定やお問い合わせ対応マニュアルの徹底不足がある。

② 今後の改善方策

是正措置及び予防規定、並びにお問い合わせ対応マニュアルの説明を継続し、マニュアルに沿った対応、または正・予防報告書として記録に残すことを習慣化していく。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

12 学校に対して苦情や要請は、今の時代を反映して、益々増えている印象を持っているが、理不尽な要求などはないか？

・「クレームノート」に書かれている内容は、以下の3項目でした。

①近隣の駐車場に自転車を放置 ②卒業生の就職先での給与が求人票と違う ③他学科のゲスト講師の授業を受講できるようにしてほしい

12 日頃からきめ細かな保護者への対応をしているので、あまり出ていないのではないか。

・ペットは動物がいるため、近隣とのトラブルは特に気を付けているが、今年はクレームが1件も無かった。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	シラバス内に各科目ごと記載し、学生・教職員に周知している。また、授業アンケート等をもとにシラバスは毎年反省と見直しを行っている。	4	
2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	教育課程編成委員会での意見を取り入れたカリキュラムの策定は行っているが、教育方法の工夫・開発は不十分である。	3.3	(安倍)3-2教育方法の工夫・開発と、3-20職員の能力開発は、一体的に行うことにより、実効性を増すものを思われる。
3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定され、公表されている。	4	
4	動物系関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	インターンシップ訪問時の聞き取りや教育課程編成委員会を通して情報を集約し、毎年カリキュラムの見直し、作成が行われている。	4	
5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	資格取得の指導体制、カリキュラム内での体系的な位置づけがなされている。	4	
6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	学科等カリキュラムは体系的に編成され、適切に運営されている。	4	
7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4	シラバスに到達目標が記載されており、学生に配布し周知されている。	4	

3
教育活動

8	動物系関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	第三者評価にて評価されたインターンシップ評価表を実習先に提示した上で実習に臨み、終了後は評価を受けている。	4	
9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	シラバスは授業開始前に配布し、説明を行っている。	4	
10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	時間割に使用教室と担当者を明記している。また、特別教室やPCについてはデスクネットにて管理、モニターについては早見表を都度作成し、いつどこで誰が使用するのかを明確にしている。	4	
11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	各期ごとに授業アンケートを実施し、授業内容、指導方法、使用教材、成果達成度などを評価・検証し、講師会にて共有している。	4	(安倍)授業評価については、評価者(○学生 ○講師本人 ○他の講師 ○教務主任・管理職)による評価結果を有機的に結び付けて生かしていくことが必要である。
12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学則にて規定された基準は学生必携にて明記され、学生に配布し周知されている。	4	
13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	学校関係者評価を実施した後、外部評価として分野別評価を実施し、ISO29990の認定を受けている。	4	
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	授業アンケートでの評価体制はあり、結果を共有しているが、同一学科校教員による評価体制には不足がある。	3.3	
15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	就業規則、講師会資料にて個人情報保護に関する規定を設け周知している。また、学内サーバには必要に応じてアクセス制限を設けている。	4	
16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	教室・備品は適切に管理され、職員間で共有されている。また、問題が生じやすい備品については管理者を設置し、使用状況の統括をしている。	4	
17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	人員は確保出来ている。新人教員の増加に伴い、特定の教員の授業時間数が一時的に増加しているが、改善見込み。	4	
18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	職務記述書を作成し、定期的に更新をしている。また、年2回の成果・行動評価として教職員評価を実施しているが、職務経歴書との関連付けは強くない。	3.3	
19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	研究会や学会に参加し、報告書として残している。	3.8	
20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果の評価し、文書により記録しているか)	3	能力開発のための研修は行われているが、研修の効果に対する評価・記録はない。	3	
21	動物系関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3	教育の重要性の普及、講師会での講師間での共有は適切になされているが、人材確保は容易に出来る体制にはない。	3.3	

① 課題

人材確保と各教員の授業時間数について、業界との連携による人材確保の仕組みは確立されていない。また、今年度は新人教員の増加により、特定教員の授業時間が増加した。

② 今後の改善方策

業界連携による人材確保の仕組みは引き続き模索する。教員数の確保は出来たため、2018年度は教育と経験の積み重ねによって新入社員が飛躍する年とする。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

5 学科によって資格取得と就職直結具合が異なるが、その辺も評価に考えられているのか

・論理的に知識を入れるために検定の取得は大切である。対策授業等も見直す必要があると考えている。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
4 学 修 成 果	1 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	ABC評価とマトリクス評価を融合させた評価システムにより、成績および成績表は適切に実施されている。また進級卒業判定は年2回の進級卒業判定(確認)会議により公正に実施している。	4	
	2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	動物病院訪問等により、卒業生および在校生(インターンの様子)の評価を収集している。また卒後アンケートおよび採用後アンケートの実施により、卒業生の実態把握に努めているが、取り組みが学科によって差がある。	4	
	3 評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	定期試験、ライセンス試験など、評価が必要となる項目ごとに評価目標及び範囲を規定しているが、一部文書化なされていないものがある。	4	
	4 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	教職員の評価(人事・授業等)を年間計画で実施している。また第2回教育課程編成委員会においてカリキュラムを提示し評価を受けている。	4	
	5 成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	成績証明書、卒業証明書、在学証明書等は学生の就職活動や資格試験に支障がないよう、社会的通用性を持った様式で作成している。	4	
	6 ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	学生募集および各学科毎に、年度当初に定めた重点項目を年度末に整理し、報告書としてまとめた上で新年度の事業計画を進めている。	4	
	7 学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	インターン実習の評価表について、評価項目が明確で整理されている点を第3者評価において評価され、他校のモデルとして紹介された。	4	
	8 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	年に2回のインターン実習先訪問において、実習生の様子とともに卒業生の様子をヒアリングし、教育効果を検証している。	4	

① 課題

6 到達目標に対する評価としてエビデンスで上げている講師会資料は教員の指導目標であり、教育目標でないのではないかと捉え方として、学科目標の方があっているのではないかと。

・半分为講師目標であり、半分为教育目標である

1 教育成果や学習成果は数値化しにくい為、定性評価できる内容にする必要があるのではないかと。例えば、離職率の追跡調査をすることで、見えてくる成果もあるのではないかと。

・離職率調査は数年おきに実施しているが、現状、回答率が低い為、実情把握のデータとしては不完全な印象である。元担任からの情報、企業訪問等、足を使って調査もしているが、感覚値でしかないのが現状である。ただし、ここ3、4年で離職率はかなり下がったという印象を持っている。

1 学生の内定先企業に学校の評価を聞くことはしているのか。

・企業からの聞き取り調査では、「現実的なクリエイター志向の学生が多い(作家的なアーティスト系ではない)」と企業から評価されることがある。

1 全体的に学校の自己点検・評価は厳しく査定しすぎている印象である。3の評価のものも全てが出来ていないわけではないので。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
5 学生 支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	就職課と担任が協力して就職指導に当たっている。	4	(安倍)学生相談、健康管理等、学生への支援は手厚く行われている。リカレント教育の視点からも、社会人学生、卒後教育は大切な取り組みである。
	2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラス担任や就職担当者への相談のほか、外部カウンセラーによる相談窓口も設置している。	4	(安倍)同上
	3 保護者と適切に連携しているか	4	オープンキャンパス内で行われる保護者説明会、入学後の就職保護者会を実施して保護者との協力体制を強化している。	4	(安倍)同上
	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	社会人の受け入れは積極的に行っているが、社会人用の募集要項は整備しておらず、全入学者が同じ条件となっている。	2.8	(安倍)同上
	5 卒業生への支援体制はあるか	4	卒業後に加入する校友会組織、卒業生向けFacebookや卒後セミナーの案内等で、卒業後も学べる環境を整えている。2018年度は更に卒業生とのつながりを強化予定。	4	(安倍)同上
	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	図書室・PCの利用は学生必携にて定め、周知している。また、蔵書は蔵書リストにて管理し、必要に応じて書籍を購入している。	4	(安倍)同上
	7 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	優秀生優遇制度による学生の顕彰のほか、学生課担当者による奨学金や教育ローンの案内について、相談窓口を設置している。	4	(安倍)同上
	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	学生健康診断を毎年4月に実施し、必要に応じた指導を実施している。また、アレルギー等については入学選考にて確認し、必要に応じて対応している。	4	(安倍)同上

9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	学生の課外活動は履修に支障のない範囲で紹介・支援している。	4	(安倍)同上
10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	優秀生優遇制度通学支援制度にて遠方入学者支援を実施するとともに、必要に応じて物件情報等を提供する仕組みが整っている。	4	(安倍)同上
11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内で実施される職業説明会に積極的に参加し、キャリア教育との連携を図っている。また、複数高校にて提携授業を実施している。	4	(安倍)同上

① 課題

卒業生に対する支援として、積極的な現状把握が出来ていない。

② 今後の改善方策

2018年度の課題として、全卒業生を対象として実態調査を行い現状把握をするとともに、卒後支援体制を強化する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

- 5 一般的に専門学校の就職課は、ハローワークに準ずる斡旋機能を持っているのか、また、卒業生の転職サポート支援も付帯されているのか、在校生・卒業生に対する一般的な機能区分は正確に把握していないが、準ずる機能を持っているのでは、と考えている。また、卒業生支援に関しては、現状は転職相談数が少ない印象である。もっと転職活動に母校を活用してほしいと考えている。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
6 教育環境	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	各教室ごとに教室管理・火元管理責任者を定め、各教室の適切な維持管理と既存設備の保守点検を実施している。	4	
	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	4	点検を外部委託しているものは定期的な管理・点検が実施されている。学生の日常清掃に不十分な箇所があった。	4	
	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	地震を想定した避難訓練は実施されている。加えて2016年度はシェイクアウト訓練を実施し、有事の際の対応力を強化した。	4	
	4	防災に対する体制は整備されているか	4	災害備蓄品の備え、学生避難訓練の実施、学校飼育動物への対応など、防災体制を整備している。	4	(安倍)12月の地域防災訓練への積極的参加を促したい。
	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	インターン実習や国内研修、海外授業など、学外で行われる教育活動の前には直前セミナー等を実施し、安全な実習ができるよう指導している。	4	

① 課題

適切に管理・運営されている。

② 今後の改善方策

継続実施する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
7 学生の 受入れ 募集	1 学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4	入学願書書類の提出は必須とし、面接試験書類とともに学生ごとファイリングし適切に管理している。	4	(安倍)結果的には定員を充足しなかったが、様々な取組・工夫を行っている。高校との連携、学校開放などにより、理解啓発をさらに行っていく必要がある。
	2 履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	入学願書書類の提出は必須とし、面接試験書類とともに学生ごとファイリングし適切に管理している。	4	(安倍)同上
	3 学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	募集要項には選抜方法や求める人材像、入学資格等を記載し、配布している。	4	(安倍)同上
	4 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	募集要項には教材・検定・実習服等学費以外にかかるすべての金額を明記し、配布している。	4	(安倍)同上
	5 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	教育成果は保護者説明会資料に記載し、OCにて説明している。また学校案内や就職内定速報を毎年作成し、成果を公表している。	4	(安倍)同上 (安武)教育効果のPR(公開性)も十分と思われる。
	6 評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	評価手段及び基準、証明書等については学生必携に記載し学生たちに配布、周知している。	4	(安倍)同上
	7 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	入学選考にて履修・就職において障がいがありそうな志願者の状況を確認し、判定会議にて共有・検証している。	4	(安倍)同上
	8 教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	オープンキャンパス、入学式後の入学説明会、就職保護者会と入学前から入学後も説明する機会を設けている。	4	(安倍)同上
	9 学納金は妥当なものとなっているか	4	予算・収支計画と実績を比較検討し、適切な設定を行っている。	4	(安倍)同上
	10 志願者状況、定員充足率はどうか	2	昨年と比較して入学者は14%減となっており、定員・入学目標数まで到達していない。	2.8	(安倍)同上 (原)段階的目標設定も考慮すべきか？ (安武)大きな社会変革が最大の要因ではないか。 (鈴木)上回った理由も明確に一つには絞れないだろうが、分析把握に期待したい。

① 課題

入学者数確保が課題となる。

② 今後の改善方策

高校1年生、または中学生の職業訓練等低学年との接触機会を増やし、低学年から複数回来校するようなコアなファンを増やす。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

- 7 ・充足率が足りていないことを理由に、7-10の項目が2であるならば、大項目2の「学校運営評価」は全て4という評価は、整合性が取れていないのではないかという印象が残る。そもそもの定員数が高すぎることを再考することも必要ではないか。
- 5 学生募集活動において、教育成果を伝える手段は、このエビデンスで上げられた項目だけでなく、高校訪問等、他にも細かく説明している機会があるのではないか。
- ・教育成果を伝える手段のひとつとして、今年新たに、イオン市野、ららぽーと磐田、葵タワー、メイワンの4会場で、卒業制作展として、巡回展示を開始した。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
8 教育の 内部質 保証シ ステム	1 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報の利用目的について明確に記載・運用されている。	4	
	2 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	関係法令ならびに専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされている。	4	
	3 文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	2	機密保護管理規定としての明文化はあるが、文書管理規定・文書管理リストは現在準備中である。	2.8	(原)作成中として改善途中。
	4 自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	3	自己評価および内部監査を適切に実施し、指摘事項を改善すべき点としてまとめているが、昨年指摘事項のすべてを改善出来ているわけではない。	3.3	
	5 監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	適任者による内部監査を実施し、指摘事項を改善すべき点として明確にして設置者、担当部署責任者に報告をしている。	4	
	6 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	3	適任者による内部監査を実施し、内部監査報告書にて改善すべき点を明記しているが、是正処置及び予防処置規定に則った形での運営は浸透していない。	3.3	
	7 内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	適任者による内部監査を実施し、内部監査報告書にて改善すべき点を明記しているが、是正処置及び予防処置規定に則った形での運営は浸透していない。	3.3	
	8 自己点検・評価結果を公開しているか	4	自己点検・評価結果は公式WEBサイトに学校情報として掲載している。	4	

① 課題

文書管理規定が完成していない。また、内部監査での指摘及び処置が、是正処置及び予防処置規定に則った形で行われていない。また、教員間の授業参観や研究授業を行う仕組みがない。

② 今後の改善方策

文書管理規定を完成させる。また、是正処置及び予防処置規定について周知を徹底し、規定に則った指摘、改善に取り組む。また、定期的な授業参観や研究授業等、適切に評価する仕組みを構築する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

	評価項目： 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
9 財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	会計監査を毎年実施し、監査報告書として文書で記録している。	4	
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	決算後、財務状況を公式ホームページ内学校情報ページにアップしている。	4	
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	学生数の減少により、短期的に厳しい状況となったが、次年度は改善する見通しとなっている。	3.8	増員となる(原) 自己評価に準ずる(安武) 改善出来る(鈴木)
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	収支計画、予算の策定など有識者による助言をもとに適切に作成し、実行している。	4	

① 課題

適切に運営されている。

② 今後の改善方策

継続実施する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

	評価項目： 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
10 社会貢献・地域貢献	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	卒業生及び近隣関係者を対象としたセミナーを開催している。	4	
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	学校として実施及び支援を行っている。	4	
	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	先方からの依頼に応じて実施している。	4	

① 課題

先方からの依頼があった際に都度検討し実施している。

② 今後の改善方策

先方の依頼にもよるが、中学・高校との連携は次年度の大きな課題として、1校でも多く協力体制が構築出来るよう話し合いを進めていく。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

	評価項目： 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
国際交流 (必要に応じて)	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか				
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか				
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか				
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	国際認証資格ISOを取得しており、問題点の改善活動に取り組んでいる。	4	(原)在留資格、就職に問題が生じる

① 課題

問題点の改善活動に取り組んでいるが、すべての問題点の改善には至っていない。

② 今後の改善方策

引き続き解決方法を検討し、問題点の改善に努める。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし